

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	VIF+友部		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日		~ 2026年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		~ 2026年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<一人ひとりに寄り添った手厚い支援> ・配置基準以上の職員配置で個々のレベルに合わせた支援を行っている。	職員個々の強みを生かしながら療育を行っている。 必要な研修等に積極的に参加し、スキルアップに努めている。	引き続き、手厚い支援を心掛け、全てのお子様が安全に活動できるように努めていきます。
2	<活動プログラム内容の充実> ・お子様の特性に配慮しながら個別活動や集団活動を組み合わせて行っている。また、マンネリ化しないように土曜日や長期休暇等には季節の行事や施設見学、出前講座、買い物支援等平日にはできない活動を行う等工夫をしている。	それぞれ専門職がお子様一人ひとりに合わせた活動のプログラムを提供している。	引き続きお子様や保護者様のニーズに寄り添い必要な療育を行って参ります。
3	<多機能型事業所である> ・多機能型事業所の為切れ目ない支援を行っている。	幼児期から学童期へと進んでも、慣れた職員が活動や生活を継続することで環境の変化による不安が軽減できるように努めている。	幼児期と学童期では支援のアプローチが異なるため、心理的变化に対する理解を深めていけるように努めていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域住民との交流イベントが少ない。	感染症や個人情報の兼ね合いもあり、交流が難しい。	可能な限り地域の方との交流を増やしていきます。
2	保護者会の実施や保護者交流の機会が少ない。	日程や場所の確保が難しい。	保護者様からの要望があった場合には検討できる体制を整えていきます。
3	定期的にホームページ上やSNS等で公表しているが把握されていない。	ホームページ上や文書等で都度お知らせしていますが、把握されていない保護者様や周知が十分でない。	今後も積極的な情報発信の充実と周知に努めていきます。保護者様にとってわかりやすいよう発信や周知方法を検討して参ります。